

第65回IRIDeS金曜フォーラム

日 時：2019年12月13日（金）16時30分～18時00分

会 場：東北大学災害科学国際研究所棟 1階 会議・セミナー室（仙台市青葉区荒巻字青葉468-1）

テーマ：『シリーズ：近年の災害を振り返る』

1. 16:30-16:50 （発表15分+質疑5分）

タイトル：**近年の災害と緊急調査WGの活動**

話題提供者：**森口 周二**（地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）

サッパシー アナワット（災害リスク研究部門 津波工学研究分野）

発表概要：災害は毎年のように世界各地で発生しており、緊急調査WGではこれらの災害の調査を実施している。特に、昨年と今年に発生した地震や豪雨を中心として、その特徴などについて概略を振り返る。

2. 16:50-17:10 （発表15分+質疑5分）

タイトル：**最近国内で発生した内陸地震と今後の課題**

話題提供者：**岡田 真介**（災害理学研究部門 長期地殻変形・地質構造研究分野）

発表概要：2014年の長野県北部の地震、2016年の熊本地震、2018年の大阪府北部の地震、北海道胆振東部地震など、内陸地域で発生した地震は少なくない。これらの地震について、東北大学災害科学国際研究所では緊急調査を実施してきた。これらの地震について振り返ると共に、特に活断層研究において明らかになってきた課題や、今後の活断層に伴う地震被害の軽減につながる研究課題について議論する。

3. 17:10-17:30 （発表15分+質疑5分）

タイトル：**近年の水害を振り返る**

話題提供者：**橋本 雅和**（災害リスク研究部門 環境変動リスク研究分野）

発表概要：令和元年台風19号は東日本の広範囲で甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が犠牲になった。令和元年は平成30年に引き続き、台風15号による千葉県内での大停電、台風21号に伴う豪雨等、様々な風水害が発生した。本発表では平成30年7月豪雨、平成27年関東・東北豪雨等の近年の水害を振り返り、被害の傾向について報告する。

4. 17:30-17:50 （発表15分+質疑5分）

タイトル：**河川の治水計画と土地利用対策の課題：なぜ洪水被害が防げないのか？**

話題提供者：**奥村 誠**（人間・社会対応研究部門 被災地支援研究分野）

発表概要：これまでの河川の治水計画では、多数の降雨パターンや破堤箇所のシナリオに対する氾濫解析を行い、浸水深の最大値の分布図を作って治水計画を立て、ハザードマップ作成の根拠情報としてきた。このような情報は、事前の治水計画を考える上では有効であるが、現実発生する一つの氾濫や浸水のパターンと一致せず、避難のために役立たないという問題を抱えている。次に、昨今の中小河川合流部からのバックウォーターをきっかけとする内水氾濫、越水、破堤のメカニズムをお話しし、事前には越水や破堤の場所を特定できないことから、ここが危険、ここが安全という二分法的な仕分けが困難であることを説明する。その不確実性・不決定性のため、土地・家屋の自由所有・取引を認めてきた私有財産制の一部を制約するような土地利用規制の導入が進まないことを説明する。最後に、今後の土地利用誘導の方向性として、一つは、重要施設や危険施設などに対する二分法的な立地規制の導入、もう一つは一般の住居などの立地には保険制度の持つシグナルを用いた緩やかな誘導という方向性を示す。

5. 17:50-18:00 （総合討議10分）

司会・進行：**橋本 雅和**（災害リスク研究部門 環境変動リスク研究分野）